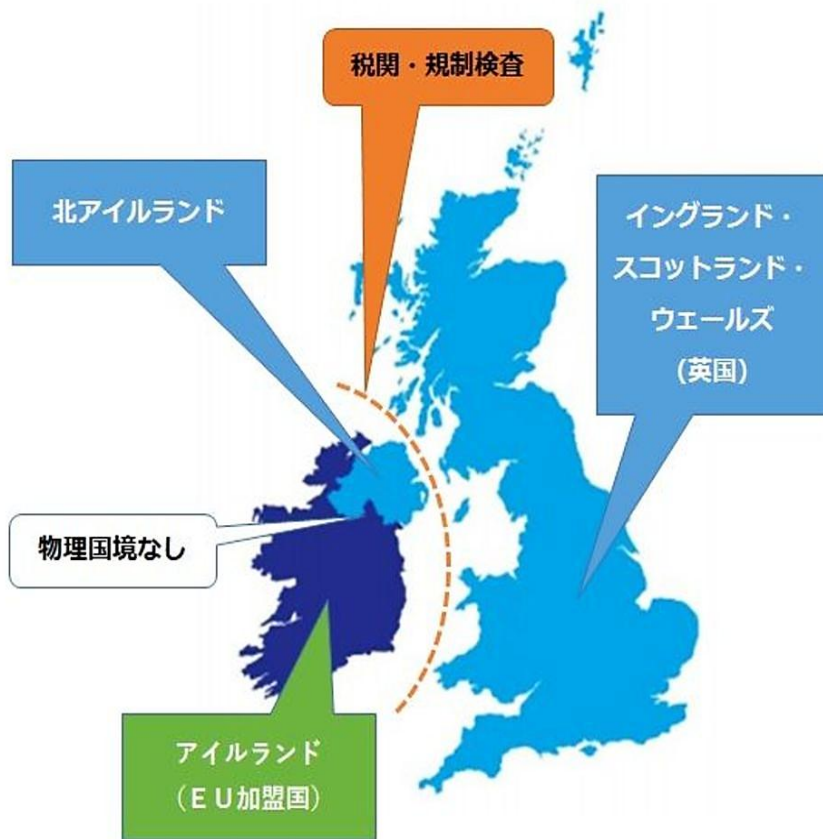


詳説世界史講義①
~2025年~



2学期 第4講①
自由主義イギリスの謳歌
とウィーン体制の崩壊

■ 移行期間終了後の英国とアイルランド間の国境管理



(出所) 第一生命経済研究所が作成

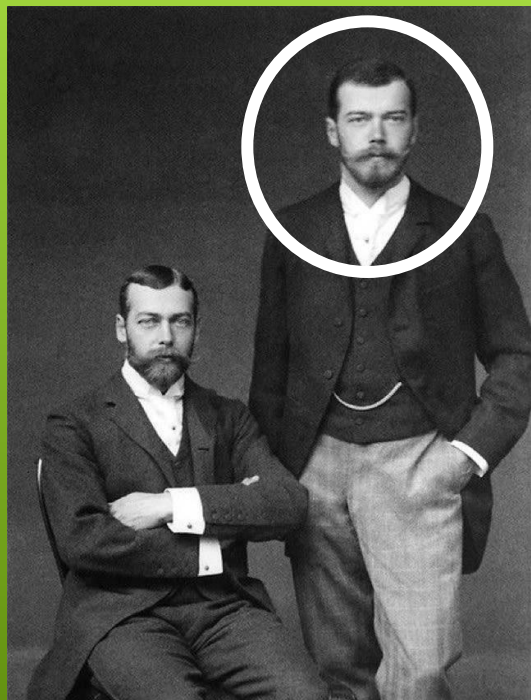




ヴィクトリア女王18歳



ヴィクトリア女王70歳



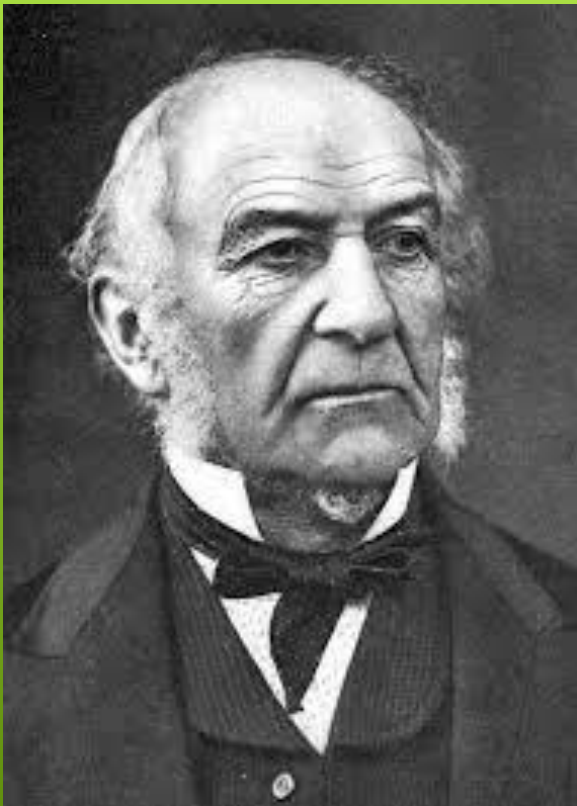
ニコライ2世
(ロシア皇帝)



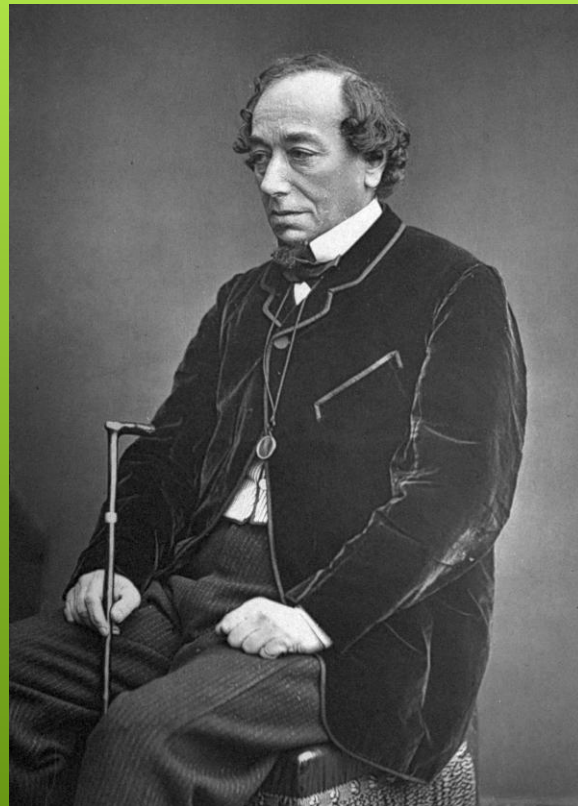
ジョージ5世
(イギリス国王)



ヴィルヘルム2世
(ドイツ皇帝)



グラッドストーン
(自由党)



ディズレーリ
(保守党)

§26: 自由主義のイギリス (「世界の工場」)

* ジョージ3世から ① へ、バクス=ブリタニカの時代… ロンドン万国博覧会開催 (1851) など

① **自由貿易主義の確立** … 産業革命 [冬期講習] により産業資本家が台頭

1807年: 奴隷貿易禁止 (→ 33年: 奴隷制廃止) by 福音主義者ウィルバーフォースの活躍

15年: ② の制定 (地主擁護) → ✕ 39年: ③ の結成 (コブデン・ブライト)

33年: 東インド会社の中国貿易独占権廃止 (*インドは1813年)

46年: ② 廃止 (保守党: ピール内閣) 49年: ④ 廃止 (自由党: ラッセル内閣)

② **自由主義的内政改革 (選挙・労働)** * 右ページの表を参照

1832年: 第1回選挙法改正 (ホイッグ党: グレイ内閣) = 腐敗選挙区の廃止, ⑤ らに選挙権 (5%程度)

37年: ⑥ 運動 (~58) = (綱領) 人民憲章 (6か条) の提唱 (※48年運動の高揚)

70年: 教育法 (→ 80年: 義務教育化)

71年: 労働組合法 (← 33年: 一般工場法)

70・80年: アイルランド土地法 (← 29年: カトリック教徒解放法) } ⑦ 内閣 (自由党)

■ イギリスの選挙法改正

回数	年代	内閣 (政党)	内容	有権者の全人口比
第1回	1832	グレイ (ホイッグ党)	腐敗選挙区の廃止。 産業資本家に選挙権。	4.5%
第2回	1867	ダービー (保守党)	都市労働者に選挙権。	9%
第3回	1884	グラッドストーン (自由党)	農業・鉱山労働者に選挙権。	19%
第4回	1918	ロイド=ジョージ (挙国一致内閣)	21歳以上の男性, 30歳以上の 女性に選挙権。 (男子普通選挙の確立)	46%
第5回	1928	ボールドウィン (保守党)	21歳以上の男女に選挙権。	62%
第6回	1969	ウィルソン (労働党)	18歳以上の男女に選挙権。	71%

©アイルランド問題（併合から独立の年表）

1801年：合同法成立（アイルランドは地図上から消滅）

28年： ⑧（1673～）の廃止… 非英国教徒に公職を開放（*しかし、カトリック教徒は対象外）

29年：カトリック教徒解放法の成立… ⑨の尽力

45年： ⑩ 飢饉の発生 → 48年：青年アイルランドの蜂起… オブライエンらによる武装闘争・失敗

70年：第1次・81年：第2次アイルランド土地法の成立

86年：第1次・93年：第2次アイルランド自治法案の提出 → 否決

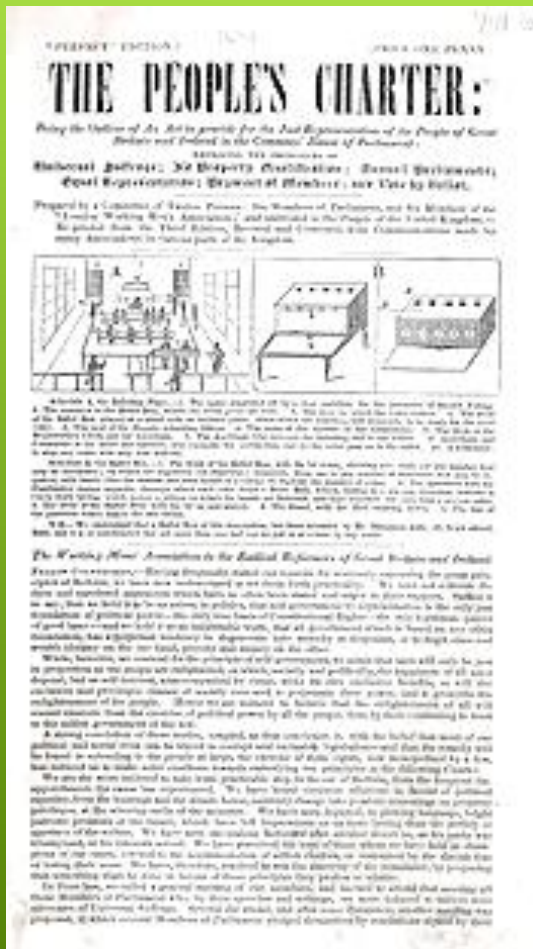
} ⑦ 内閣（自由党）

1905年： ⑪ 党の結成

14年：アイルランド自治法案の通過 → 第一次世界大戦勃発のため実施は延期

16年：イースター蜂起（ダブリン暴動）… 完全独立を目指す → 18年：総選挙で ⑪ 党が勝利！

22年： ⑫（イギリスの自治領） 37年： ⑬ 成立（完全独立：共和政に移行）



人民憲章

(ピープルズ・チャーター)

- ①21歳以上男子普通選挙
- ②無記名選挙
- ③議員の財産資格の撤廃
- ④議員への歳費支給
- ⑤議員の任期1年化
- ⑥10年ごとの国勢調査



民衆を導く自由の女神 〈ドラクロワ(仏)〉

LES POIRES,

Faites à la cour d'assises de Paris par le directeur de la CARICATURE.

Vendues pour payer les 6,000 fr. d'amende du journal le *Charivari*.

Sur la demande d'un grand nombre d'abonnés des départements, nous donnons aujourd'hui dans le *Charivari* les poires qui servaient à notre défense, dans l'affaire où la *Caricature* fut condamnée à six mois de prison et 7,000 fr. d'amende.

Si, pour reconnaître le monarque dans une caricature, vous n'attendez pas qu'il soit désigné autrement que par la ressemblance, vous tomberez dans l'absurde. Voyez ces croquis informés, auxquels j'aurais peut-être dû borner ma défense.



Ce croquis ressemble à Louis-Philippe, vous condamnerez donc ?

Alors il faudra condamner celui-ci, qui ressemble au premier.



Puis condamner cet autre, qui ressemble au second.

Et enfin, si vous êtes conséquens, vous ne sauriez absoudre cette poire, qui ressemble aux croquis précédens.

Ainsi, pour une poire, pour une hrisoche, et pour toutes les têtes grotesques dans lesquelles le hasard ou la malice aura placé cette triste ressemblance, vous pourrez indiquer à l'auteur cinq ans de prison et cinq mille francs d'amende !!
Avez-vous, Messieurs, que c'est là une singulière liberté de la presse !!



ギゾー(仏)
『ヨーロッパ文明史』

ルイ=フィリップと洋ナシ
(ドーミエ作)

S.25: ウィーン体制崩壊と革命の影響

A プルボン復古王政 (1814・15～30)

① ① (1814～24) → ② ② (1824～30)

「憲章」制定・中道政治 亡命貴族へ財産補償・検閲強化

1830年: ③ 遠征 (ポリニャック内閣) → 未招集の議院解散 (← 反国王派が多数当選)

③ 七月革命 (1830) by 老ラ=ファイエット “栄光の三日間” *絵画「民衆を導く自由の女神」 by ④ (仏)

→ オルレアン公 ⑤ が即位 (“フランス国民の王”・“株屋の王”)

*影響

A: ⑥ 独立 (1830年に武装蜂起, ⑦ より) … ロンドン会議で承認

31年: レオポルド1世の即位で立憲王国成立 → 永世中立国化 (1839)

B: ポーランド蜂起 (in ワルシャワ 1830～31 × ロシアにより鎮圧)

*音楽家 ⑧ 『革命 (革命のエチュード)』

C: ドイツ (自由主義者・急進派 × メッテルニヒにより鎮圧)

イタリア (カルボナリ最後の蜂起) → その後, 「青年イタリア」を結成 by マッツィーニ

B 七月王政 (オルレアン朝: 1830～48)

* ⑨ の進行で産業資本家が台頭

《背景》 有権者は全人口の0.6% … 首相ギゾー: “選挙権が欲しければ金持ちになりたまえ”

→ 産業資本家・労働者による選挙権拡大運動 (1848年: 改革宴会が弾圧される in パリ)

C 二月革命 (1848) とその後のフランス

首相ギゾーと国王ルイ=フィリップは英へ亡命

(1) 第二共和政 (48～52) <臨時政府=共和派: ラマルティエス, 社会主義者: ⑩>

① 男子普通選挙 ② リュクサンブル労働委員会 ③ ⑪ 設立

四月普通選挙 → 結果は… ★1 → ⑫ ↑その後閉鎖

6月: ⑬ <×陸相カヴェニャック> … 社会不安拡大

12月: ⑭ が大統領選挙で圧勝! (← 74%: 労・軍・農の支持)

1851年12月: 1851年クーデタ … 議院を武力解散 → 国民投票で承認

(2) “⑮” (=1848年革命 ← 二月革命の影響)

【中欧の民族運動&改革】

① ⑯ (in ウィーン・ベルリン) → ハンガリー (マジャール人) 民族運動 by コシュート

& ベーメン民族運動 (スラヴ民族会議) by バラツキー

② フランクフルト国民議会 (48～49年: 各邦から選ばれた自由主義者中心) … 小ドイツ主義 × 大ドイツ主義

→ 「小ドイツ的」なドイツ帝国憲法を採択

→ but プロイセン王の帝位拒否で「国民主導のドイツ統一」は失敗した

③ その後 … プロイセン) プロイセン欽定憲法発布 オーストリア) 新絶対主義体制

【イタリア民族運動】

① ⑰ 国王カルロ=アルベルトの蜂起 × オーストリア軍

② 青年イタリアのマッツィーニが ⑱ 政府に加わる × フランス軍

■ マルクス「共産党宣言」一部

「一匹の妖怪がヨーロッパを徘徊している——
共産主義という妖怪が。およそ古いヨーロッパのすべての権力が、この妖怪を祓い清めるという神聖な目的のために、同盟を結んでいる。」 ~ 中略 ~ 「共産主義者は自らの意図や信条を隠すことを軽蔑する。プロレタリアはこの革命において鉄鎖のほかには失う何ものをも持たない。彼らが獲得するものは世界である。万国の労働者、団結せよ」(草末句)

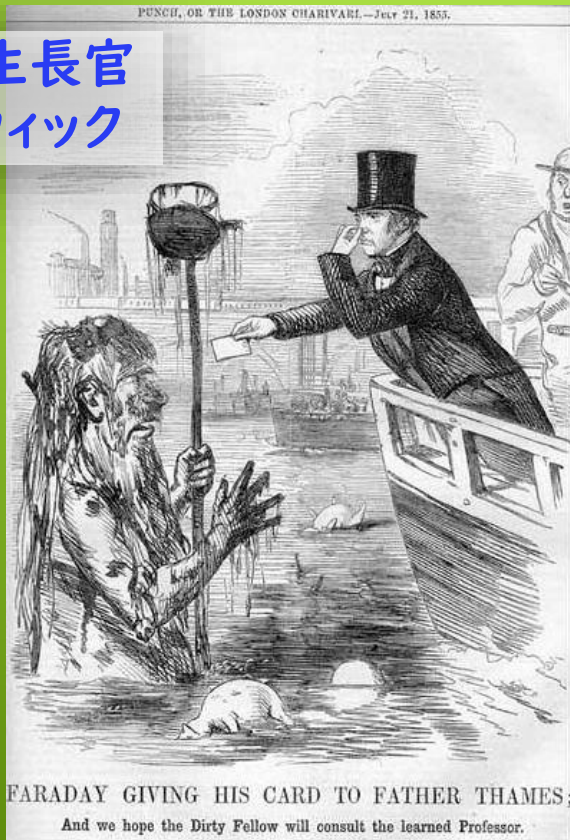


2学期 第4講②
フランス第二帝政
ドイツ&イタリアの統一



詳説世界史講義②
~2024年~

公衆衛生長官
チャドウィック



テムズ川の汚染

セーヌ県知事
オスマン

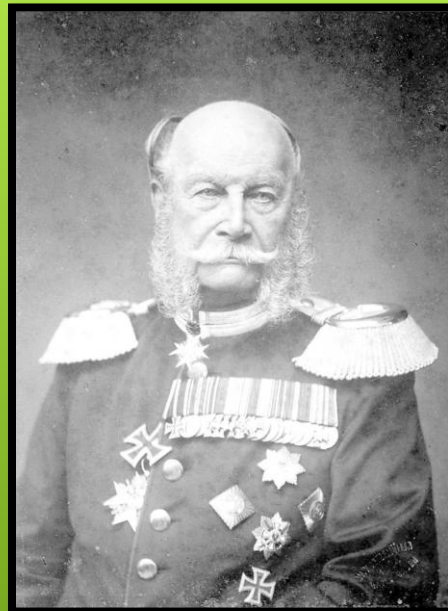


パリ大改造



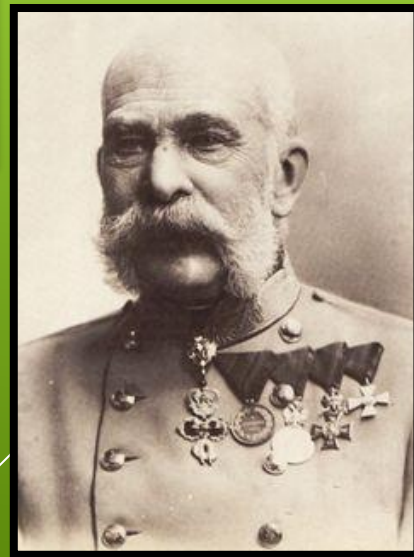
ナポレオン3世

ヴィットーリオ＝
エマヌエーレ2世



フランツ＝
ヨーゼフ1世

ヴィルヘルム1世



§27：独裁から共和へのフランス

①第二帝政（1852～70）＝ナポレオン3世（“馬上のサン＝シモン”）

（内政） 1851年クーデタ（任期10年大統領），権威帝政 → 自由帝政

英仏通商条約（1860），2度のパリ万国博覧会（55年：第3回・67年：第4回）

（外交） ① 戦争（1853～56） → 第2次アヘン戦争（1856～60） → インドシナ出兵（1858～67）

→ イタリア統一戦争（1859） → スエズ運河建設（1859～69） by レセップス

→ ② 遠征（皇帝マクシミリアン擁立）（1861～67）

→ ③ 戦争（スダンの戦い）（1870～71）

②第三共和政（1870 or 71～1940）… 第三共和政憲法（1875） ※諸説あるが，近年は71年開始説が有力

臨時国防政府（1870～71） → 臨時政府〈首班：④〉 → フランクフルト条約（+プロイセン）

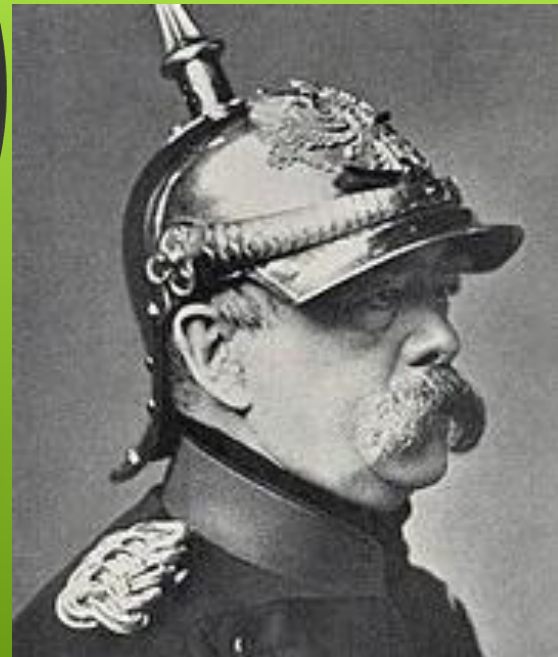
× ⑤（初のプロレタリア独裁による共産主義政権） → 「血の週間」で弾圧

共和派 × 右派・軍部

→ 右派台頭 1887年：⑥ 事件（右翼政治家のクーデタ未遂）

1894年：⑦ 事件（ユダヤ系軍人の冤罪事件）… 2つの影響

× 共和派の抵抗… 急進社会党〈クレマンソー〉，フランス社会党，フランス労働総同盟



カヴール
(サルデーニャ首相)

ビスマルク
(プロイセン首相)

§28：19世紀のドイツ統一 —1815年：ドイツ連邦—

(経済的) 1834年： ① 同盟発足 (プロイセン主導, 経済学者 ②)

(政治的) 1848年： ③ 開催 (小ドイツ主義の勝利 → プロイセン王による帝冠拒否！)

【国王】 ヴィルヘルム1世 【首相】 ビスマルク：“ ④ 政策” 【参謀】 大モルトケ

*ユンカーがプロイセンの高級官僚・軍人を独占

1864年：デンマーク戦争 (+ 奥) → ⑤ 管理権問題の発生！

66年：プロイセン=オーストリア戦争 (*サドヴァの戦い)

67年：プラハ条約 (⑥ の成立, オーストリア=ハンガリー帝国の成立)

☆アウスグライヒ☆
奥外相兼ハンガリー首相
アンドラーシ
(1823~90)

70年：プロイセン=フランス戦争 (← エムス電報事件 ← スペイン王位継承問題) *スタンの戦い

71年： ⑦ 成立 (in ⑧ で戴冠式) → フランクフルト条約

*アルザス・ロレーヌはドイツ領に

内
政

①ドイツ帝国憲法 (連邦制・連邦参議院・帝国議会・君主優越) *外見的立憲主義

② ⑨ (× ⑩ 党 [カトリック・西南ドイツ] + 教皇ピウス9世) 1871~80年

③ ⑪ 法 (1878 ← 皇帝狙撃事件) と 社会政策 *災害保険・疾病保険・養老保険

④ ⑫ 法 (1879) = “鉄と穀物の同盟” ⑤軍拡政策…クルップ社 (家) との連携

*1875年：ドイツ社会主義労働者党の結成 → 78年：弾圧 → 90年： ⑬ に復活・改名
(ゴータ綱領) (エルフルト綱領)

§29：19世紀のイタリア統一

【国王】 ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世 【首相】 ① (~1861)

1855年： ② 戦争への参戦（国際的地位の向上）

58年：プロンビエール密約（+ ③ = 仏軍事援助）

59年：イタリア統一戦争（× 塙：ソルフェリーノの戦いで大勝）… デュナン（スイス）の活躍

→ ヴィラフランカ和約（塙+仏）… サルデーニャを裏切る ← ★1

→ チューリヒ和約（塙+サルデーニャ）= ロンバルディアを獲得

60年： ④ 併合（ \leftrightarrow サヴォイア・ニースと引換に仏が承認）

: 「青年イタリア」 < ⑤（千人隊） > が, ⑥ を征服 のちに… ★2

61年：イタリア王国成立（都：トリノ → フィレンツェ → 71年：ローマへ遷都）

66年：プロイセン＝オーストリア戦争（→ ⑦ 併合） } *リソルジメント後に残った

70年：プロイセン＝フランス戦争（→ ⑧ 占領） } 2つの問題点とは？

リソルジメント後に残った2つの問題点

① “ ⑨ ” 問題

ローマ教皇 <ピウス9世> × イタリア国王ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世

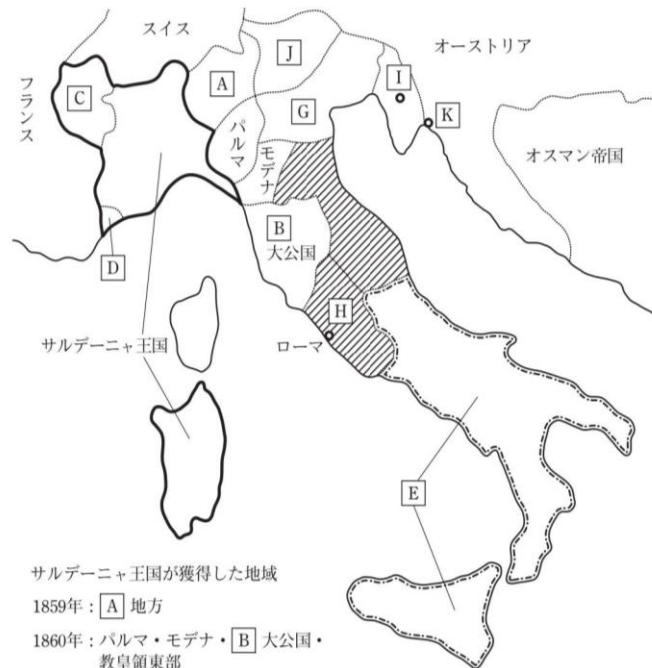
→ 1929年： ★3

② “ ⑩ ”（イタリア・イレデンタ）問題

トリエステ（イストリア地方）・南チロル・フィウム・ダルマティアは塙領のまま

→ 1919年： ★4

■19世紀：イタリア統一



サルデーニャ王国が獲得した地域

1859年： A 地方

1860年：バルマ・モデナ・B 大公国・
教皇領東部
（4つ併せて中部イタリア）

⇔ C・D を仏へ割譲

1860年： E <by F>

1861年：イタリア王国成立

1866年： G 地方

1870年： H

1919年： I・J } 未回収のイタリア

1924年： K



ヴィットーリオ＝エマヌエーレ
2世記念堂



ドイツ帝国戴冠式（ベルサイユ宮殿）